

令和元年度

横浜市立高等学校
及び
併設型中学校

学校関係者評価書

対象校：横浜市立桜丘高等学校

調査全体の日程

調査日：令和2年3月24日

調査対象校：横浜市立桜丘高等学校

調査チーム： 多和田雅保（横浜国立大学教育学部教授）

柴田 正美（横浜市立岩崎中学校）

小柴 邦幸（同窓会会長）

土屋 稔明（桜ヶ丘東部自治会館前会長）

鈴木 節子（本校 PTA 会長）

記録等担当者 横浜市立桜丘高校学校評価委員会

学校評議委員会（3月24日実施）

- | | |
|------------------|--------|
| 1 学校長より | 校長 |
| 2 自己評価書の説明 | 校長 |
| （1）魅力ある高校教育の推進状況 | 副校長 |
| （2）進路指導 | 進路指導主任 |
| （3）組織運営・教職員研修 | 副校長 |
| 3 学校評議委員より | |
| 4 その他 | |

1 第3期横浜市教育振興基本計画の推進状況

□魅力ある高校教育の推進状況について

- (1) 基本方針
 - ・進路指導、授業力の向上と部活動の3本柱に重点。外部講師を招いての研修会やメンターチームなどの校内研修が活発に行われている。
- (2) 教育課程
 - ・昨年度、学校グランドデザインの作成、今年度は各教科のグランドデザインを作成した。
- (3) グローバル人材の育成
 - ・2月にドイツ国際交流プログラム派遣プログラムを実施。11月にはフランクフルト市長が来、次年には10月に派遣プログラム予定され、国際交流が順調に推進されている。
 - ・さくらチャレンジプログラムは、生徒にも好評であり今年度は2クラスで展開している。
- (4) 働き方改革の推進
 - ・働き方改革プロジェクトチームを立ち上げ、ワークショップやアンケートを実施。担任の負担軽減や会議の時間短縮等で成果を上げた。
- (5) その他
 - ・令和2年度入学生より制服を改定した。生徒・保護者・教員のアンケート結果などを反映できた。

- ドイツ国際交流プログラムは、外の世界を知る貴重な機会となっている。
- 桜丘高校は進学指導重点校として勉強ができる学校と地域に認識されている。
- 働き方改革を学校の中にどう位置づけて推進していくのかが今後の課題である。
- 高校入試で面接は必要なのか検討が必要である。評価も難しいと思う。
- 教育の中で「話し方」は、とても重要である。積極的取り入れてほしい。
- 日本の歴史教育の重要性を認識することは、ドイツ国際交流を推進してことでも意義がある。
- リーダーシップ教育を今後さらに必要になってくる。

2 教育活動の状況

□進路指導の状況について

- (1) 指導方針
 - ・社会に出てから活躍できる人材の育成を目指す。常に高い目標の実現と高い学力を身につけることを目標に一人ひとりに寄りそった指導を心がけている。
 - ・生徒や保護者の要望は何か。期待に応えられるよう進学指導重点校としての取組を意識できている。
- (2) 具体的な手立て
 - ・教育相談（年5回）の実施。模擬試験実施と生徒へのフィードバック、GTECの導入など。
- (3) 成果
 - ・国公立進学者が増加、浪人が増加→自分が行きたいところへ行くという意識で自分の進路に向き合っている。

○毎年3月に実施している横浜国立大学訪問の意義を再確認した。大学でどのような授業が

行われているか知ってもらうことが大事である。

- 新教育課程では大学も柔軟に対応したい。
- 進路実績に対する保護者の関心が高まってきている。
- 先生方が、生徒自身の「自分が何をしたいか」に重点を置いた進路指導を実践してくれている。社会に出たときに必要な力を今後も身につけて欲しい。
- 新しい大学入試制度への対応について不安に感じている。
- 桜丘高校の進路実績は向上している。塾での評判も良い。引き続き授業力の向上に力を入れてほしい。

3 学校経営の状況

□組織運営、教職員研修について

(1) 授業改善

- ・年2回の授業見学週間と管理職を含めたディスカッションで授業力向上を図っている。

(2) 校内組織の見直し

- ・働き方改革の観点から学校行事の見直しや学校評価のPDCAサイクルを有効に回すための組織改善が必要である。

(3) 地域連携

- ・活発なPTA活動、桜高校祭での出店や学園通りコンサートや地域清掃等、PTA、同窓会、自治体が連携し、組織的に学校を支援する体制ができている。

○PTA活動を推進して中で、学校の雰囲気を感じ取ることができる。先生方と一緒にあって生徒たちを見守っていききたい。

○社会に出てから活躍できるようになるためには、家庭の教育力、親の役割は重要である。学校に任せっきりになるのではなく、学校を支援していく必要がある。また、親ができることをやってほしいと同時に地域と協力して子どもたちを支えていきたい。

○吹奏楽部の行っている学園通りコンサートは、地域の小学生や中学生にとってもいい刺激になっている。引き続き実施してもらいたい。

○桜丘高校は地域に根ざした教育活動を行い、地域に愛されている学校である。地域清掃、桜高WEEK、桜高祭など素晴らしい取り組みである。